

# 株式会社 ニチナン

## 2014 年度 環境活動レポート

(対象期間:2014年4月～2015年3月)



株式会社ニチナン  
<http://www.nichinan.cc>

作成日：2015年4月20日

更新日：2014年4月28日

## □ごあいさつ

株式会社ニチナンは快適な空間演出を創造するディスプレイ業務を提供させていただいています。  
環境保全に於いても環境負荷低減を心掛け、地球環境の保全に貢献します。

株式会社 ニチナン  
代表取締役 杉本 行隆

## 環境方針

### <環境理念>

ディスプレイを通じ社会に貢献すると共に、環境保護・資源保護の観点からも社会貢献できる企業として、自らに課題を課し、取り組みを継続することで社会に貢献できる企業を目指します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます
  - ①電力及び燃料の削減による二酸化炭素排出量の削減
  - ②廃棄物創出量の削減
  - ③環境に配慮した製品の企画・製作を推進します
  - ④環境に配慮した製品・資材の購入を推進します
  - ⑤化学物質の適正管理を行います。
- 3 環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ公表します
- 4 この環境方針は、全従業員に周知・徹底します

制定日： 2011年4月1日

改定日：

代表取締役社長 杉本 行隆

## □組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
株式会社 ニチナン  
代表取締役社長 杉本 行隆
- (2) 所在地  
本 社 大阪市大正区北恩加島1-17-7
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 営業部 戸田 健司 TEL : 06-6553-1222  
担当者 洞口 満江
- (4) 事業内容  
展示会/イベント 企画・デザイン・施工  
商業施設のイベント 企画・デザイン・施工
- (5) 事業の規模  
売上高 4.3億円 (2014年度)

	本社
従業員	15名
延べ床面積	1030,538㎡

- (6) 事業年度 4月～3月

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 ニチナン

対象外： なし  
活動： 展示会/イベント・商業施設のイベント 企画・デザイン・施工

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2012年度	2013年度	2014年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	26,225	32,764	32,464
廃棄物排出量	トン			
一般廃棄物量排出	トン	0.245	0.268	0.268
産業廃棄物排出量	トン	29.52	37.81	27.03
総排水量	m <sup>3</sup>	103	108	138

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.355

## □環境目標及びその実績

項目	年度	基準値	2014年		2015年	2016年
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	11,749	11,625	9,540	1,151	11,455
	基準年比	(2012年)	98.5%		98%	97.5%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	25,496	25,113	22,246	24,986	24,858
	基準年比	(2012年)	98.5%		98%	97.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	37,245	36,738	31,786	26,137	36,313
一般廃棄物の削減	kg	259	255	265	253	252
	基準年比	(2012年)	98.5%		98.0%	97.5%
産業廃棄物の削減	t	29.5	29.7	27.0	29.05	28.91
	基準年比	(2013年)	99%		98.5%	98%
節水	m <sup>3</sup>	111	109	138	109	108
	基準年比	(2012年)	98.5%		98%	97.5%
P T R T物質使用量の削減	kg	212	190	98	207	206
	基準年比	(2012年)	98.5%		98%	97.5%
グリーン購入 (コピー用紙)	ケース	28 (2014年)	100%	100%	対象項目 の拡大	対象項目 の拡大
製品への環境配慮 (リボード)	件	6 (2012年)	8	6	10	12

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b>			
数値目標	◎		
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	◎	継続	今年度は、目標数値を設備投資後の状態のものを設定したにも関わらず、達成できたことは大変良かったと思います。今後はソフト・ハード両方面から、さらなる削減を検討します。
・パソコンの電源OFF	◎	継続	
・昼休みの消灯	◎	継続	
<b>自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減</b>			
数値目標	◎		
・効率的なルートで移動	○	継続	数値的には、達成できていますが、削減手段としての行動の実行度合に疑問符が少し残ります。今後の課題として呼びかけていきます。
・急加速の抑制	○	継続	
・タイヤ空気圧の定期点検	△	継続	
<b>一般廃棄物の削減</b>			
数値目標	◎		
・紙使用の抑制・ミスの抑制	○		社内伝票・会議資料などで裏紙を使用中。継続して抑制に努めます
・裏紙などの有効利用	◎		
<b>産業廃棄物の削減</b>			
数値目標	×		同じ方針での処理方法をしていますが、売上に伴う削減の為、統計の取り方を検討する必要があると思います。
・発生量の抑制	×		
<b>節水</b>			
数値目標	×		
・水道水をだしすぎない	◎	継続	引き続き節水を心掛けての利用を呼びかけます。
<b>グリーン購入</b>			
・事務用品グリーン購入比率の向上			対象購入品の拡張を検討します
<b>製品への環境配慮</b>			
・Re-boardの販売拡販	○	継続	更なる提案・拡販を継続します

C

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油）
フロン回収破壊法	業務用空調機、エアドライヤ
自動車リサイクル法	営業用乗用車、トラック

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

### □代表者による全体の評価と見直し

2014年度も引き続き電力消費・自動車燃料の分野において好結果が出ているのは大変喜ばしいと思えます。設備投資以降も順調に下がっているのは評価に値します。要因としては、工場の休日の確保を会社としてしっかり取り組んだことが大きいと思います。自動車に関しては削減要因が特定しにくいですが、特定できればコントロールができて理想的だと思います。排水に関しては業務上利用する部分ではないので削減は正直厳しいのかもしれませんが、無駄遣いをしないに啓発していく必要があると考えます。産業廃棄物に関しては、目標達成できていますが、売上減っているので当然の結果だとは思いますが、今後の統計の取り方を検討した方が正確に比較できるのかもしれませんが、また、視点を変えて、環境活動に貢献するというのも視野に入れていきたいです。事務用品の購入は対象商品の範囲を広げることで、リポード製品の拡販を増加させることで、環境活動につながるのではないかと思います。

### □環境活動の紹介



「エコロジー」がキーワードになりつつある中で、「Re-board」を利用し、新しいディスプレイの提案を促進します。

